様式２
（2020年度）

# 事業実績報告書

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 講座番号 | B-57 | 講座名 | 防災・減災　寺子屋　～コロナ禍の災害ボランティア入門～ |
| 記載日 | 2021/4/21 | 団体名・企業名 | 災害ボランティアちくさネットワーク |

〈講座全体の概要〉(300字程度)

今までの防災とは異なり、新型コロナウィルス禍の災害ボランティア活動は、大きく変わってきます。コロナ禍でどんな活動ができるか、新たに注意すべきことは何か、考えていきましょう。

１．コロナ禍での、新たな災害の基礎と災害ボランティアについて
２．コロナ禍での、新しい避難所運営について
３．コロナ禍での女性目線での、防災・減災講座
４．コロナ禍における、災害ボランティアセンターについて

※写真１の説明

1/9　千種区乗西寺　女性目線の、コロナ禍の防災減災について。

※写真２の説明

11/14　千種区乗西寺　コロナ禍の避難所運営について、勘所を伺いました。

〈 企画・運営者の声 (感想) 〉(350字程度)

毎年、防災減災について企画しているが、今回は「コロナ禍での」災害と避難所、女性目線、災害ボランティアセンターの運営など、今後の強毒性感染症対策も含めた防災講座になった。
特に、避難所の新しいルール（レッドゾーン、イエローゾーン、ブルーゾーン）や避難時の持ち物（マスク、手指消毒液など）など、今までとは大きく異なる体制等を準備する必要があると感じられた。引き続き、コロナ禍の災害について、勉強していきたい。

〈 受講者の声(実感した反応及びｱﾝｹｰﾄより) 〉(3～5点、計350字程度)

（女性目線の防災減災）
男性の参加や理解が必要と感じられました。
男性の方が、関心を持って聞いておられて、良かったと思いました。
（コロナ禍の災害ボランティアセンターについて）
講師の方は相当の実践を踏んでおり、具体的で分かり易い内容だった。
ワークまでやりたかった。
もう少し、コロナ禍の災害ボランティアセンターについて話が聞きたかった。